

あすみが丘小学校・大椎小学校田んぼ 2012 稲刈り編

5月末に子どもたちが1本植えた苗が、分けつして2~30本の立派な株となり、お米もたわわに実りました。あすみ小は9月17日、大椎小は21日に、稲刈り&自然観察を行ないました。

谷津田にやってきた開放感でニコニコ顔の子どもたちでしたが、稲刈り前に、稲刈りが危険な農作業であると金谷さんから聞かされると、ちょっとひきしまりました。鎌は、お手伝いに来てくださったお母さん方が管理し、子どもたちの稲刈りにつきそっていただきました。子どもたちの顔は、緊張しつつもサクッと稲が刈れると、まんめんの笑み。最初は恐る恐るしていましたが、12株の稲をあっという間に刈っていきましました。刈った稲を麻ヒモで束ねるまでの仕事を終え、次は自然観察へ。自然観察をする田んぼには、古代米の花が咲いていたため、めったに見ることのできない小さな白い稲の花の観察もしました。また、稲刈りが終わった田んぼに網をいれ、たくさんのヤゴやホトケドジョウ、タイコウチなど田んぼの生き物を見つけては、目をキラキラさせていました。

すべての作業をケガなく終えた子どもたちは、大きな稲束を両肩にかかえ、元気よく、学校に帰っていきましました。そんな子どもたちの稲刈り報告です。

■大椎小学校

★稲刈り、キター!!(T.M)―おれは、ついに最大の山場にたどりついた。それは、「稲刈り」だ。おれは最初からあぶないと思っていた。しかし、やらなきゃいけない時がきてしまった。心ぞうがバクバクしているなか、ふるえた手で鎌を持った。おれは、鎌で稲を切った。そうしたら、渡辺先生に「うまいじゃないか」と言われた。おれはうれしかった。おれはこの時、米を育てるには、「感情」「根性」「愛情」がないと育てられないと思った。だから、おれには、まだまだ育てられない。だから、おれは、次に谷津田に行く時には、この3つの言葉を体に背負っていきたいです。

★ドキドキの稲刈り(Y.N)―9月21日、谷津田の稲刈りにいきました。題名にもある「ドキドキ」という言葉には2つの意味があります。1つは初めての稲刈りなのでドキドキしました。もう1つは鎌や稲の葉などでケガをしないかドキドキしました。金谷さんの説明がなければ、ケガをしていたかもしれません。また、稲刈りをしたいです。

★稲刈り(M.K)―20本の稲についてお米がご飯茶わん1ぱいになると聞いた時、稲1本1本を大事にしないといけななあと思いました。自然観察では稲の花を見ました。すごかったです。

★稲刈りで足がはまってしまった!(M.Y)―稲刈りのとき、足がはまって、いっしょん、動けなくなってしまいました。でも、きれいに稲を刈れて、うれしかったです。自然観察では、「稲の花は1日しか見られないから、今、見たら得だよ」と教えてもらいました。谷津田にまた、行きたいです。

★初めての稲刈り(R.S)―稲刈りをして、私は、農家の人はとても大変な作業をしているんだなあと思いました。金谷さんがお手本で稲を刈ったとき、とても早いのでびっくりしました。私たちが刈った面積よりも広い田んぼを一人で刈ると聞いて、やっぱりプロの人は、すごいなと思いました。おいしいお米ができてほしいです。

★谷津田で稲刈り(A.S)―稲刈りを体験して、米の生産者は、ドロが手や足につきながらも稲を刈り、重い稲を運ぶという大変な作業をしていることがわかりました。私たちがいつも食べている米は、生産者ががんばっているということがよくわかりました。稲刈りを体験できてよかったです。

★稲刈り(H.K)―ぼくは、稲刈りを初めてやり、たいへんなことがわかりました。稲を切る鎌は自分の腰より上にあげてはいけないことや、稲の葉も目にささるとあぶないということ、金谷さんに教えてもらいました。稲を刈るだけの作業がこんなに危険なことがわかりました。

★農作業を通して…(Y.S)―谷津田に稲刈りをしに行きました。谷津田では、鎌の使い方や稲の持ち方などを教えてもらいました。実際、稲を刈ってみるとなかなか切れず大変でした。ぼくは、この農作業を通して、農家の人の苦勞がわかりました。



■あすみが丘小学校

★サンダルがこわれた(S.R)ー今日はあすみ田んぼに行って稲刈りをしました。かまは元々危ないものだと知っていたけど、改めてすごい危ないものと知りました。稲刈りのとき、稲の葉の先が目の中に入りそうでこわかったです。水で洗うとき手にキズが3か所ぐらいあって、とてもしみました。次は自然観察です。ビーチサンダルで田んぼに入ったらサンダルがうまくぬけなくなって足で壊してしまいました。帰り道は稲を4本もらい、時々友達のももってあげて、最大7本持ちました。

★稲かりとかま(H.M)ー今日のあすみ田んぼは稲かりをしました。私はかまは一度も使ったことがなかったので、とても不安でした。稲を切るときに上手に切れるかな?と思いながらやってみると、なかなか切れなくてボランティアの人が手伝ってくれてうまくいきました。最後には、自分だけの力でシュパッと切ることができて本当によかったです。帰りには稲を持って学校まで行くのがもう辛くて辛くてやばかったです。雨が降ったりやんだりの不安定の天気だったけどとにかくつかれました。

★(S.M)ー今日は朝から不安定な天気で、ちゃんと稲刈りができるかなと思いながら学校に行きました。説明の前に大雨が降り出して頭にはどんぐり落ちてきてそれがとても痛くて気持ちはブルーになっていましたが、青空が出てきたと同時に気分も晴れやかになりました。稲を見たら、とても大きくなっていて感動しながら夢中で稲刈りをしました。斜めに刈るところが難しく、でも気持ち良く作業ができました。帰り道はとても疲れたけど、自然の中でみんなと稲刈りができていい思い出になったし、農家の方の苦労が少しわかった気がしました。おいしいお米になるといいなあと思いました。

★大変だった稲刈り(I.R)ー今日、ぼくは谷津田に稲刈りをしました。谷津田に着いたとたん、急に雨がふってきて、友達が「かさに入れて」と言ってきたので、入れてあげました。金谷さんのお話を聞いているうちに、雨がやんで自然観察に行きました。カエルの数が減っていて、そのかわりトンボがたくさん飛んでいました。カマキリやバッタもいました。次に稲刈りです。稲刈りでは、よく切れるカマを使うので、とてもきんちょうしました。そして、カマを持ったとたん、もっときんちょうしました。稲を刈ってみました。あまり切れなかったので大変でした。稲刈りが終わって、着がえ終わったとたん、急に雨がふってきて、おどろきました。帰りに稲を持って帰ったのでとても大変でした。

★自然観察、生き物いっぱい!(N.A)ー自然観察をして、あぜ道を歩いている時でした。稲が干してあるところに行ったら、稲から枝豆のにおいがしました。次に小さな池みたいなところに行きました。水がにごっていて、どこのどの虫がいるのかわからなかったです。そしたら、みずきちゃんが「あ、あそこに魚がいる!」と言ったので捕まえてみると、それはホトケドジョウの家族でした。その後もホトケドジョウを捕まえました。すると、アカシャツオヤジさんが「めずらしい、ゲンゴロウがいる」と言ったので見てみました。ふつうのゲンゴロウに私は見えたけど、アカシャツオヤジさんはふつうのものと見分けられるのです。すごいと思いました。自然観察はとっても楽しかったです!

★初めてやった稲刈り(K.M)ー私は稲刈りをするのが初めてでした。かまは、とても切れやすいと言っていたのでとてもこわかったです。でも、お母さんたちがとてもやさしく教えてくれたので、どこもケガをしなくて、安全にできました。最初はあまり切れなかったけど、だんだん慣れてきて、早くできるようになりました。あと、自分で切った稲を結びました。結ぶのもけっこう大変で力がとてもいりました。結べた時は「やっとできた」と思いました。最後、帰る時は自分の稲を持ってかたにかけて帰りました。でも、どんどん重くなっていく感じができて、友達に持ってもらうなどいろいろしてもらいました。



力を使った稲刈り (K.U)



はじめての稲刈り (M.S)

★おいしいお米になあれ(S.R)ー今日、稲刈りをして干す作業をしました。稲刈りをするのは、とても難しくあまり切れませんでした。そこで、お母さん方がいろいろとアドバイスをしてくださってできました。また、農家の方はこの作業を毎年行なうなんて大変だなと思いました。結んで帰るとき、ところどころに稲が落ちていました。かわいそうだと思い、拾いましたが、ほかにまだ落ちているかもしれません。今、どうなっているか知りたいです。稲はとつぜん切られ、とつぜんどこかわからない場所に干されています。早くおいしいお米になって私の口の中へおいで〜



里山たんけんレポート

第 152 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2012年9月2日(日) 雨

前の晩から断続的に降っていた強い雨は朝になっても続いていました。スタート時はちょうど強い雨の時に
なって東屋で小降りになるのを待ちました。と、突然近くに落雷があり肝を冷やしました。鉄塔に落ちたの
ではないかと思われました。しばらく待って小降りになって行動開始です。雨で川は増水、中川から田んぼに水
は逆流していました。ナガコガネグをはじめとするクモが大きくなって目につきました。雨の切れ目にはトン
ボも目立ちました。アカネの仲間は赤味が増し、マユタテアカネは綺麗な赤とんぼになっていました。チョウ
ではセセリチョウの仲間が多く見られました。3つの発育段階の異なるツマキシヤチホコの幼虫の群れがひと
つの枝葉にビッシリ付いている様や孵化したばかりの仔を抱えたアメリカザリガニなども見られました。コバ
ネイナゴやオオカマキリも幼体から成虫になり始めましたこの天候では生きものとの出会いは期待できない
のではないかと危ぶんだのですが短縮ルートにもかかわらずたくさんの出会いがあった観察会でした。

(参加者 大人4名、高校生2名； 報告：網代春男)

第 138 回 下大和田 YPP「コシヒカリの稲刈り」

2012年9月15日(土) くもり

開始直前に激しいにわか雨があり、ちょっと心配でしたが、
その後は天気が回復し、予定どおりの稲刈りができました。
コシヒカリの田んぼはところどころ雑草がたくさん生えてい
て刈りにくいところもありましたが、子どもたちも手伝って
くれて、大勢のみなさんの力でどんどん刈り進み、お昼まで
にコシヒカリ田んぼを、午後はカヤネズミ田んぼを刈り終え
ることができました。カヤネズミ田んぼの一角では田んぼの
名前のとおり、稲にカヤネズミの巣がありました。終了後、
有志で農林一号と黒米を刈りました。

(参加者 大人15名、小学生8名、幼児5名：
報告・写真 高山邦明)



番外編 下大和田 YPP「コシヒカリの脱穀」

2012年9月30日(日) 晴れ

コシヒカリ、黒米、農林一号の脱穀をしました。台風が近
づいていましたが、それを感じさせない暑いぐらいの青空の
下、脱穀機が調子よく動き、参加したみなさんが大人も子ど
ももとても要領よく作業を進めてくださったおかげで、お昼
までに全部終わることができました。収穫が詰まった袋を前
に皆さん、笑顔でいっぱいです。夜は台風で大荒れの天気と
なったので、脱穀を終えられて本当に良かったです。

(参加者 大人15名、小学生8名、幼児5名：
報告 高山邦明・写真 田中正彦)



第 84 回 小山町 YPP「コシヒカリの稲刈り」

2012年9月22日(土・祝) 晴れ

彼岸を迎えてようやく残暑が去り、モズの高鳴きが響く谷
津でコシヒカリの稲刈りをしました。すでに少しずつ刈り始
めており、その続きの稲刈りです。少人数でしたが、手慣れ
た皆さんなのでどんどん進み、予定した田んぼのほとんどを
刈り終えることができました。オダいっばいに稲が掛けられ
ている谷津田の風景はいつ見てもいいものです。

(参加者：大人10名、子ども2名；報告：高山邦明)



<谷津田・季節のたより>

小山町

- 9月 8日 谷津の斜面林の縁にセンニンソウ、ヤマホトトギス、ヒヨドリバナなど秋の草花が咲く。田んぼでは赤米に続き、緑米も出穂し、モズの高鳴きが聞こえてくる。真っ赤に色づいたマユタテアカネの姿も見られた(高山)。
- 9月 18日 田んぼでギンヤンマのヤゴを発見。ヒメゲンゴロウなど様々なゲンゴロウやタイコウチなども見られた(稲富)。
- 9月 22日 急に涼しくなり、セミの音がほとんどしなくなる。日が高く昇ってからツクツクボウシとミンミンゼミが控えめに鳴いていた(高山)。

下大和田

- 9月 15日 カヤネズミ田んぼには今年もカヤネズミの巢がひとつあった。巢のあるところの稲は刈らないで残しておいた。稲刈り中、ツノトンボに出会った。幼虫は9月1日に観察しましたがウスバカゲロウの間でアリジゴクにそっくり。幼虫から成虫へ、考えられないようなすごい変わりよう(網代)。
- 9月 29日 森の中は様々なキノコでいっぱい。おとぎの国へ行ったようだった(網代)。
- 9月 30日 脱穀の日にタイコウチを見つけた。久しぶりの出会いだった(網代)。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。

・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。

・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。

・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼第139回 下大和田 YPP「古代米の稲刈り」

今年最後の収穫、緑米を刈ります。収穫祭でお餅にするお米です。もちつきを思い描きながらみんなで元気よく刈りましょう。小さなお子さんも参加できますので、みなさんでぜひご参加ください。脱穀は11月10日を予定していますが、稲の乾燥具合によって変更になる可能性がありますので、ホームページ等で事前のご確認ください。

日時: 2012年10月27日(土) 10:00~14:00 小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に10:00(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:53、9:08、9:23など> 料金は520円)

持ち物: 弁当、飲み物、長靴、軍手、敷物など。

参加費(資料代等): ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料

主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

▼第154回 下大和田 11月の谷津田観察会とごみ拾い

秋も深まり、様々な木の実が色づき、冬鳥も早いものは来ている頃です。モズの高鳴きを耳にしながら秋たけなわの谷津を散策します。

日時: 2012年11月4日(日) 観察10~12時 午後は田んぼの作業など自由活動 *小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(下大和田 YPP に同じ)

集合: 下大和田 YPP に同じ

持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム 共催: ちば環境情報センター

▼第85回・86回 小山町 YPP「古代米の稲刈り」

2回にわたり、最初に赤米、そして、緑米を刈ります。今年の米づくりの最後になります。よろしくお祈りします。

日時: 2012年10月13日(土)・11月3日(土・祝) 10:00~12:30、小雨決行

場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物: 飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば環境情報センター

編集後記 「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉をきっちりと守るように長く、厳しかった残暑が収まり、ようやく秋がやってきました。下大和田も小山もコシヒカリを刈り終え、稲刈りの前半が終了です。お天気で次になるのが台風。下大和田の脱穀は台風到来の当日でしたが、天気が崩れる直前ギリギリに作業を終えることができました。残るのは古代米。最後の稲刈りが終わるまで気がかりな日々が続きます。(高山 邦明)